

事業報告書

平成28年度(平成28年4月1日 から平成29年3月31日まで)

(1)農作物共済関係

イ.(引 受)

区 分		項 目		引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料	
		組合数	組合員数									
水稲	品質方式	2	48人	14,423 ^a	— ^{kg}	112,928,525 ^円	109,934,742 ^円	1,283,047 ^円	439,432 ^円	20,406 ^円	459,838 ^円	
	一筆方式	5	30,806	3,448,099	114,601,156	21,095,439,379	20,793,397,440	129,446,542	118,455,013	△ 53,460,644	64,994,369	
	全相殺方式	1	151	23,983	913,183	34,923,704	34,361,432	240,973	0	51,174	51,174	
	合 計	(実)5	(実)30,826	3,486,505	115,514,339	21,243,291,608	20,937,693,614	130,970,562	118,894,445	△ 53,389,064	65,505,381	
麦	28年産	災害収入方式	5	4,776	2,150,513	—	8,386,408,581	7,822,517,159	187,963,805	30,028,385	109,433,890	139,462,275
		其他方式	3	22	5,699	88,521	6,000,318	5,739,195	87,040	13,464	73,575	87,039
		合 計	(実)5	(実)4,798	2,156,212	88,521	8,392,408,899	7,828,256,354	188,050,845	30,041,849	109,507,465	139,549,314
	29年産	災害収入方式	5	3,878	2,105,921	—	8,333,804,156	7,773,526,860	186,759,097	29,767,049	109,117,576	138,884,625
		其他方式	3	16	4,398	63,570	5,715,396	5,472,378	81,004	7,667	72,140	79,807
		合 計	(実)5	(実)3,894	2,110,319	63,570	8,339,519,552	7,778,999,238	186,840,101	29,774,716	109,189,716	138,964,432

※ 平成28年産麦引受については、引受変更が生じたため、前年度総会資料と異なる。

ロ.(被 害)

区 分		項 目		共済減収量	共済金	保険金	共済金 共済金額
		被害 組合数	被害 組合員数				
水稲 (28年産)	品質方式	1	14人	— ^{kg}	2,861,366 ^円	1,055,642 ^円	2.5%
	一筆方式	5	1,502	491,311	87,689,619	26,306,883	0.4
	全相殺方式	1	30	32,172	1,218,890	656,708	3.5
	合 計	(実)5	(実)1,546	523,483	91,769,875	28,019,233	0.4
麦 (28年産)	災害収入方式	5	3,346	—	948,159,555	497,806,254	11.3
	其他方式	3	11	7,574	197,752	128,459	3.3
	合 計	(実)5	(実)3,357	7,574	948,357,307	497,934,713	11.3

○水 稲

(損害防止)

職員の損害防止に必要な知識技術を取得するため、農林業総合試験場の予察課に講師を依頼し病害虫発生調査講習会を開催した。また、生育調査の圃場を県内48ヶ所に設け、登熟不良等被害の把握及び病害虫の早期発見に努めた。また、登熟不良・病害虫・積算温度等情報を農家へ提供した。さらに、水稲品位判定資格者を対象とした講習や判定技術向上を行い、品質低下に伴う野帳未提出対策に努めた。

(作柄概要)

28年産水稲は、梅雨時期・期間はほぼ平年並みであったが、早期・早生は、6月の多雨寡照から一変して出穂期から登熟期にあたる7月下旬から8月下旬にかけて高温少雨となったことから品質はやや劣ったが、収量はやや多かった。中晩生は、8月下旬の風雨による籾擦れやもみ枯細菌病の発生、また、9月の日照不足による登熟不良のため収量はやや少なかった。水稲の作柄は10a当たり予想収量501kg(作況指数100)となった。

(被害概況)

風水害は、6月22日の大雨により一部地域で土砂の流出が発生した。台風の直撃はなかったが、8月下旬から9月上旬に気圧の谷や台風12号の影響で県内最大瞬間風速10m/sを連日記録し、出穂期のヒノヒカリを中心に籾擦れが発生した。また、台風16・18号の風雨により倒伏が発生した。その他一部地域で雹害による脱粒や竜巻により倒伏の被害があり、8月の高温少雨による影響で干害の発生も見られた。

病害は、上記の8月下旬から9月上旬風雨により、県内全域でもみ枯細菌病・内穎褐変病が発生した。いもち病は、山間部の一部で発生したが、少なかった。虫害は、6月19・20・22日の記録的な大雨となり、県内の平坦地で圃場の浸水によりスクミンゴカイの食害が発生した。トビイロウンカも中晩生で発生し、坪枯れが発生した。鳥獣害は、山間部で電気柵・ワイヤメッシュの防御を行っているが、イノシシ・シカによる被害が発生した。スズメによる被害も発生した。

農家からの被害申告は例年になく少なかった。

ハ.(支 払)

区 分		項 目	支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源				
					再保険金	手持保険料 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他
水稲	品質方式	3月17日	1,055,642 ^円	0 ^円	1,055,642 ^円				
		12月20日	26,306,883 ^円	0 ^円	26,306,883 ^円				
		3月17日	656,708 ^円	407,205 ^円	249,503 ^円				
		合 計	28,019,233 ^円	407,205 ^円	27,612,028 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	
		合 計	497,934,713 ^円	277,962,713 ^円	219,972,000 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	
麦	災害収入方式	12月20日	497,806,254 ^円	277,908,672 ^円	219,897,582 ^円				
		12月20日	128,459 ^円	54,041 ^円	74,418 ^円				
		合 計	497,934,713 ^円	277,962,713 ^円	219,972,000 ^円	0 ^円	0 ^円	0 ^円	

○麦

(作柄概要)

播種期に断続的な降雨の影響で一部圃場において、播種遅れが見られた。12月から2月にかけても降雨日数・降水量が多く、県下全域ほ場の湿潤状態が続いた。このため、麦ふみや土入れの管理作業が十分行えず、莖数が減少、湿潤状態による影響は、播種の遅れたほ場で強く見られた。4月上旬から5月中旬にかけての多雨によって根痛みなどが発生。全麦種において収穫量の減少の要因となった。10a当たり収量は、小麦273kg(平年比89%)、二条大麦233kg(同93%)、裸麦248kg(同100%)となった。

(被害概況)

降水量が多く、また日照不足であったため、1穂粒数を決定する小花分化始期の降雨により1穂粒数が減少し収穫量の減少の要因となった。出穂期から登熟期にかけての、4月上旬から5月中旬にかけての多雨や期間中、ほぼ一週間おきに激しい降雨に見舞われたことも、根のみならず麦地上部へも悪影響を及ぼした。また、降雨に加えて、平年を上回る高温状態が続いたため、登熟不良や粒の充実不良が生じ、全麦種において収穫量の減少の要因となった。

(2) 家畜共済関係

イ. 家畜(引受)

区分	項目	有資格	事業計画	引受頭数	引受頭数	共済金額	保険金額	再保険金額	徴収保険料	組合等	納入	交付金	手持保険料	技術料
		頭数	頭数		計画頭数									
成乳牛	頭	11,930	11,400	11,098	97.4	2,262,262,885	1,809,810,308	1,131,131,443	円	円	円	円	円	円
育成乳牛	頭	1,410	1,360	1,264	92.9	141,690,031	113,352,025	70,845,016						
乳用子牛	頭	1,170	750	959	127.9	69,422,111	55,537,689	34,711,056						
乳用胎児	頭	14,560	9,930	10,104	101.8	394,304,327	315,443,462	197,152,164						
肥育用成牛	頭	15,210	9,420	9,874	104.8	2,337,578,521	1,870,062,817	1,168,789,261						
肥育用子牛	頭	1,130	740	627	84.7	58,246,478	46,597,182	29,123,239						
他肉成牛	頭	2,670	1,970	2,363	119.9	544,088,187	435,270,550	272,044,094						
他肉子牛	頭	210	110	213	193.6	20,425,714	16,340,571	10,212,857						
他肉胎児	頭	2,960	1,980	2,317	117.0	143,056,458	114,445,166	71,528,229						
一般馬	頭	490	0	0	0.0	0	0	0						
種豚	頭	10,070	700	762	108.9	51,489,600	41,191,680	25,744,800						
肉豚	頭	24,621	7,940	7,340	92.4	88,080,000	70,464,000	44,040,000						
特定包括肉豚	頭	21,010	5,000	4,496	89.9	53,952,000	43,161,600	26,976,000						
計		107,441	51,300	51,417	100.2	6,164,596,312	4,931,677,050	3,082,298,159	48,063,150	15,160	282,001	76,482,915	124,264,013	91,283,672

ロ. 家畜(事故)

区分	項目	死 廃 事 故				病 傷 事 故	
		死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払保険金	件数	支払保険金
成乳牛	頭	683	525	1,208	159,784,297	11,950	59,287,117
育成乳牛	頭	13	0	13	1,075,623	467	898,176
乳用子牛	頭	19	0	19	1,112,084	212	473,744
乳用胎児	頭	644	6	650	27,644,553	2,258	5,187,299
肥育用成牛	頭	184	61	245	33,863,030	1,099	3,637,328
肥育用子牛	頭	131	2	133	6,721,882	568	1,683,556
他肉成牛	頭	37	13	50	8,067,850	551	1,271,930
他肉子牛	頭	4	0	4	345,908	74	241,512
他肉胎児	頭	87	1	88	4,936,347	554	1,781,728
一般馬	頭	0	0	0	0	0	0
種豚	頭	0	0	0	0	0	0
肉豚	頭	1,705	-	1,705	9,857,740	0	0
計		3,507	608	4,115	253,409,314	17,733	74,462,390

ハ.家畜(損害防止)

実施種目		実施期日	対象頭数又は回数	重点事項	経費概算	適用
特定損害防止		平成 28年 7月) 平成 29年 3月	乳用牛 1,208 頭	乳用牛 繁殖障害 乳房炎 運動器疾患	円 5,974,860	家畜診療所、嘱託獣医師の協力を得て検査、処置を実施した。
一般損防	予防衛生措置	平成 28年 7月) 平成 28年 10月	乳用牛 股関節脱臼等防止 630 頭 肉用牛 尿石症防止 2,100 頭 ミネラル欠乏防止 876 頭 子牛 消化器病防止 14,400 頭	薬剤の配布	3,684,636	乳用牛、肉用牛及び子牛の多発疾病の防止のため ブラックガード ケアストーン 固型カウストーン100TZ 鈦塩E250TZ ミヤゴールドアクアセロ を配布した。
	講話会	平成 28年 6月) 平成 29年 3月	7回	事故発生防止等		・家畜担当者会議 ・指定嘱託獣医師協議会 ・組合家畜事故低減会議 ・産業動物獣医師講習会 ・家畜共済事業研修会

(診療所)

診療所名	職員数	管内		診療件数		損害防止事業				その他事業
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	実施種目	対象頭数 又は回数	重点事項	経費概算	実施内容
広域家畜診療所	8人	16,283頭	8,944頭	2,693件	453件	○ 特定損害防止事業の実施 ○ 飼養、衛生管理指導	特損 451頭	繁殖障害 乳房炎	円 1,782,070	畜産協会、家畜保健衛生所 関係事業への参加
八女家畜診療所	5	10,245	4,234	1,690	101	○ 特定損害防止事業の実施 ○ 飼養、衛生管理指導	特損 289頭	繁殖障害 乳房炎 運動器疾患	1,844,520	畜産協会、家畜保健衛生所 関係事業への参加
筑豊家畜診療所	6	11,740	7,562	1,844	257	○ 特定損害防止事業の実施 ○ 飼養、衛生管理指導	特損 205頭	繁殖障害 乳房炎 運動器疾患	1,011,770	畜産協会、家畜保健衛生所 関係事業への参加
計	19	38,268	20,740	6,227	811		945		4,638,360	

(3) 果樹共済関係

イ. 収穫・樹体共済(引受)

年度	項目		組合数	組合員等数	引受面積	標準収穫量又は 基準生産金額		共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は 納入再保険料	手持保険料
	果樹共済 再保険区分					kg・円						
(26 27 年度 年産)		キウイフルーツ 災害収入	1	(実) 人 79	a 3,782.9	kg・円 197,103,462	円 157,270,000	円 153,530,119	円 2,906,703	円 △ 817,215	円 2,089,488	
		キウイフルーツ 全相殺	1	64	2,817.4	510,318	96,500,000	94,153,120	2,345,250	△ 723,250	1,622,000	
		うんしゅうみかん 災害収入	1	11	937.8	24,965,370	19,220,000	18,652,241	367,870	313,286	681,156	
		計(延)	3									
		計(実)	1	154	7,538.1	222,579,150	272,990,000	266,335,480	5,619,823	△ 1,227,179	4,392,644	
27 年度 (28 年産)	なし	半相殺一般	2	20	1,370.2	283,441	43,830,000	42,182,370	932,382	△ 175,260	757,122	
		半相殺短縮	2	105	8,656.3	2,079,844	336,420,000	324,475,615	3,275,409	770,287	4,045,696	
		半相殺特定危険	1	60	5,653.6	1,739,326	354,320,000	342,638,069	673,942	568,749	1,242,691	
		樹園地特定危険	1	1	199.0	72,734	11,680,000	11,288,603	39,344	24,778	64,122	
	かき	半相殺短縮	4	176	20,408.5	3,339,311	422,390,000	406,770,171	12,860,620	△ 5,016,178	7,844,442	
		樹園地特定危険	1	16	1,992.0	410,899	53,110,000	51,315,944	452,475	△ 39,886	412,589	
	キウイ フルーツ	災害収入	1	93	4,177.0	228,123,094	182,070,000	177,740,375	3,373,011	△ 932,835	2,440,176	
		全相殺	1	114	4,511.8	859,233	172,100,000	167,914,528	4,180,278	△ 1,293,670	2,886,608	
		樹体	1	213	9,429.5	555,995,511	1,516,220,000	1,483,166,404	3,002,115	3,184,062	6,186,177	
	ぶどう	半相殺一般	1	10	471.1	65,915	23,250,000	22,575,750	444,658	350,492	795,150	
		樹園地短縮	1	13	1,142.0	141,852	43,630,000	42,584,625	395,966	188,733	584,699	
		樹園地特定	1	31	2,624.0	347,896	133,370,000	130,318,494	619,508	552,373	1,171,881	
		災害収入	2	38	1,235.9	59,138,272	43,790,000	42,626,667	883,371	271,470	1,154,841	
		うんしゅうみかん 災害収入	1	11	921.5	26,241,789	20,230,000	19,632,405	387,202	329,749	716,951	
	計(延)	20			標準収穫量 9,340,451							
	計(実)	4	901	62,792.4	基準生産金額 869,498,666	3,356,410,000	3,265,230,020	31,520,281	△ 1,217,136	30,303,145		
28 年度 (29 年産)	なし	半相殺一般	2	19	1,282.6	305,671	50,090,000	48,242,699	680,954	62,590	743,544	
		半相殺短縮	2	107	8,602.2	2,049,821	328,050,000	316,402,877	3,204,770	778,252	3,983,022	
		半相殺特定危険	1	59	5,617.4	1,586,699	310,790,000	300,543,253	589,498	494,758	1,084,256	
		樹園地特定危険	1	1	199.0	74,178	11,630,000	11,240,278	39,264	24,894	64,158	
	かき	半相殺短縮	4	173	19,523.2	3,145,562	343,170,000	330,376,966	10,438,750	△ 3,948,056	6,490,694	
		樹園地特定危険	1	15	2,042.0	427,782	47,670,000	46,072,578	392,596	△ 69,632	322,964	
	キウイ フルーツ	災害収入	1	93	4,680.6	276,007,339	220,020,000	214,906,735	2,915,769	△ 684,888	2,230,881	
		全相殺	1	126	5,806.4	1,384,126	283,020,000	276,340,728	3,837,810	△ 396,130	3,441,680	
		樹体	1	217	10,382.3	713,233,344	1,926,320,000	1,884,326,224	3,236,217	3,082,112	6,318,329	
	ぶどう	半相殺一般	1	10	586.2	83,776	28,560,000	27,778,027	426,107	367,455	793,562	
		樹園地短縮	1	25	2,032.0	252,842	80,650,000	78,717,626	730,710	443,600	1,174,310	
		樹園地特定	1	20	1,640.0	218,548	84,570,000	82,650,261	377,149	324,127	701,276	
		災害収入	2	33	1,120.9	57,353,063	42,880,000	41,775,206	819,062	146,306	965,368	
		うんしゅうみかん 災害収入	1	11	895.2	26,353,646	20,350,000	19,763,513	365,697	292,035	657,732	
	計(延)	20			標準収穫量 9,529,005							
	計(実)	4	909	64,410.0	基準生産金額 1,072,947,392	3,777,770,000	3,679,136,971	28,054,353	917,423	28,971,776		

ロ.収穫・樹体共済(被害) なし・かき・ぶどう(28年産) キウイフルーツ・うんしゅうみかん(27年産)

項目		被害組合数	被害組合員数 (実)	認定減収量	認定生産金額の減少額	共済金	保険金	共済金
果樹共済 再保険区分								共済金額
			(実) 人	kg	円	円	円	%
なし	半相殺一般	2	9	28,075		1,351,600	978,322	3.1
	半相殺短縮	1	48	237,686		20,522,900	18,190,877	6.1
	半相殺特定危険	1	1	4,413		369,600	258,720	0.1
	樹園地特定危険	0	0	0		0	0	0.0
かき	半相殺短縮	4	123	1,072,506		61,342,600	56,554,193	14.5
	樹園地特定危険	0	0	0		0	0	0.0
キウイ フルーツ	災害収入	1	14	79,128	6,215,021	6,192,544	5,474,212	3.9
	全相殺	1	30	75,538		7,390,030	6,825,349	7.7
	樹体	1	37			149,574,166	143,853,486	9.9
ぶどう	半相殺一般	1	1	2,679		460,000	368,000	2.0
	樹園地短縮	1	7	28,067		5,449,600	5,167,833	12.5
	樹園地特定	0	0	0		0	0	0.0
	災害収入	2	3	1,599		3,423,295	3,403,022	3,071,389
うんしゅうみかん 災害収入		1	4	53,027	552,207	421,102	336,881	2.2
計(延)		16	277	1,582,718	10,190,523	256,477,164	241,079,262	13.4
計(実)		4						

ハ.収穫・樹体共済(支払)

項目		支払月日	実支払保険金	保険金支払財源					実支払保険金
果樹共済 再保険区分				再保険金	手持保険料 充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	保険金
			円	円	円	円	円	円	%
なし	半相殺一般	12月26日	978,322	107,343	757,122	113,857	0	0	100
	半相殺短縮		18,190,877	12,749,490	4,045,696	0	0	1,395,691	100
	半相殺特定危険		258,720	0	258,720	0	0	0	100
	樹園地特定危険		0	0	0	0	0	0	100
かき	半相殺短縮	2月28日	56,554,193	45,381,249	7,844,442	0	0	3,328,502	100
	樹園地特定危険		0	0	0	0	0	0	100
	樹体		0	0	0	0	0	0	100
キウイ フルーツ	災害収入	11月2日	5,474,212	2,600,886	2,873,326	0	0	0	100
	全相殺		6,825,349	4,566,627	2,258,722	0	0	0	100
	樹体	12月7日	143,853,486	120,970,769	6,186,177	0	0	16,696,540	100
ぶどう	半相殺一般	12月26日	368,000	0	368,000	0	0	0	100
	樹園地短縮		5,167,833	4,040,766	584,699	36,927	14,410	491,031	100
	樹園地特定		0	0	0	0	0	0	100
	災害収入	3月22日	3,071,389	1,744,858	1,154,841	171,690	0	0	100
うんしゅうみかん 災害収入		8月17日	336,881	0	336,881	0	0	0	100

(被害概況)
【なし】開花期の天候不順(3月下旬の低温、4月上旬の降雨)によって結実不良となり、着果量が十分に確保できない園地では生育初期のステージから大きく減収した。また黒星病が4月の多雨の影響で早い時期から発生するとともに、6月中旬からの多雨により後期発生も多発し発生園では大きく減収した。一部の園地ではナシヒメシンクイによる果実への被害が発生し減収した。7月下旬以降の高温・乾燥により、豊水等で果実肥大が伸び悩み全体的に小玉傾向となるとともに、新高等々にえ果(果肉褐変)が発生し減収した。また、嘉穂町で9月20日と10月5日にイノシシによる被害が発生し、果実を食害するとともに果実を落果させたことで減収した。

【キウイフルーツ・収穫共済】開花期である5月中旬の降雨、低温により、結実不良となり、玉数が激減するとともに、果実内の種子数の減少により、果実の肥大不良が発生し減収した。さらに、6月上、中旬の果実肥大初期の天候不良(降雨、低温、日照不足、最高気温の低下・最低気温の上昇)により果実の肥大が抑制され、果実は小玉となり、減収の要因となった。一部の園地では、3月下旬からかいよう病が発生し減収した。

【キウイフルーツ・樹体共済】病害(かいよう病)が特に「レインボーレッド」において多発し、全伐採の園地もあり甚大な被害となった。また、4月～6月の多雨により根腐れによる枯死も多くの園地で発生した。そのほか、昨年8月25日の台風15号による倒木の被害、7月8日の大雨による土砂崩れに伴う樹木の流失、イノシシによる倒木、枝折などの被害も見られた。

【かき】発芽から生育初期にかけての高温、4月末から5月上旬の結実期前の気温の日格差により「西村早生」でキズ果が発生した。梅雨明け後の高温、強日射により日焼け果、7月から8月の高温、乾燥により果実の肥大が抑えられ小玉果が多く発生した。また、7月から8月の高温、乾燥後、9月、10月の高温多雨により軟熟果が多発した。病害では6月中旬から7月中旬の多雨のため適期防除が十分に行えず、さらに9月、10月の高温多雨の影響を受け、炭そ病による被害園地が多発し大きな減収となった。虫害でも同じく6月中旬から7月中旬の多雨で、適期防除が十分に行えなかったことからフジコナカイガラムシによる被害が発生した。

【ぶどう】27年8月25日に台風15号が来襲し、柳川市の1園地で果樹棚の倒壊および倒木により全損となった。また、開花期(5月中旬)の低温により、トンネル有核巨峰栽培園において受精不良による単為結果が発生し、品質が低下するとともに減収した。さらに、7月下旬以降の高温乾燥により、日焼け果、軸枯れ症、房枯れ症が多発し、品質が低下するとともに減収した。

(損害防止)
県が策定した「果樹病害虫雑草防除の手引き」を県のホームページからリストし、必要に応じ配布し、農家への損害防止活動に活用するよう組合を指導した。

【うんしゅうみかん】11月中旬の高温・多雨で浮皮果が多く発生し、収穫量が減収した。

(4)畑作物共済関係

イ.大豆共済(引受)

年度	畑作物共済再保険区分		組合数	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	保険金額	徴収保険料	交付金又は納入再保険料	手持保険料
	区分	共済目的									
27	第一区分	大豆	5	4,523人	830,444a	14,853,971kg	4,694,317,370円	4,224,885,632円	180,985,554円	△ 8,595,455円	172,390,099円
28	第一区分	大豆	5	3,769人	823,878a	13,869,223kg	4,595,617,342円	4,136,055,605円	146,549,055円	22,036,431円	168,585,486円

※平成27年産大豆引受については、引受変更が生じたため、前年度総会資料と異なる。

ロ.大豆共済(被害)

年度	畑作物共済再保険区分		被害組合数	被害組合員数	共済減収量	共済金	保険金	共済金
	区分	共済目的						共済金額
27	第一区分	大豆	5	3,617人	3,089,254kg	939,316,133円	845,384,515円	20.0%

ハ.大豆共済(支払)

年度	畑作物共済再保険区分		支払月日	支払保険金	保険金支払財源					実支払保険金	
	区分	共済目的			再保険金	手持保険料	法定積立金	特別積立金	その他	保険金	
27	第一区分	大豆	5月27日	845,384,515円	630,528,711円	172,390,099円	42,465,705円	0円	0円	0円	100%

(損害防止)

職員の損害防止に必要な知識技術を取得するため、農林業総合試験場に講師を依頼して大豆栽培技術講習会を開催した。

又、フェロモントラップによる病虫害発生予察情報を組合を通じて普及センターに提供した。

(作柄概要)

平成27年産については、梅雨明けが7月29日(平年より10日遅れ)で遅播が多く、8月の長雨、日照不足により土壌が湿潤状態で根腐れ等が発生し、生育が抑制された。その後8月中旬～9月中旬は、低温・長雨・日照不足により草丈が短く生育量が少なかった。8月25日の台風15号により葉の裂傷や倒伏および落花が発生し、一部で潮風害がみられた。開花期以降の低温で莢数が少なく、青立ちが目立った。収穫期の高温・降雨により収穫期が遅れ紫斑病の発生がみられた。また、中山間地域を中心に、イノシシ・シカ・ウサギによる食害が見られた。

平成28年産については、播種後の豪雨により冠水し発芽不能が発生した。播種後7月4半旬～8月5半旬まで高温、少雨により県内全域で生育不良となった。9～10月は、高温、多雨、日照不足により登熟不良となった。山間部においては、兎、猪、鹿による食害が発生した。薬剤の散布時期により、ハスモンヨトウの発生量に差が見られた。全体的に小粒であり、平均収量の187kg/10aに対し、当年産収量138kg/10aであった。(平年比74%農水統計公表)

(被害概況)

平成27年産
 風水害 台風15号・爆弾低気圧による倒伏、一部潮風害が発生した。
 土壌湿潤害 7月、8月中旬～9月中旬の多雨より生育不良、根腐れが発生した。
 冷害 8月中旬～9月中旬の低温により生育不良、稔実莢数が減少した。
 病害 紫斑病が少なかった。
 虫害 ハスモンヨトウ、カメムシ類少なかった。
 獣害 中山間地域を中心に、イノシシ・シカ・ウサギによる食害が見られた。

平成28年産

干害 梅雨明け後から8月5半旬まで高温・少雨により土壌の乾燥状態が続き干害が発生した。
 土壌湿潤害 7月の梅雨前線、9月～10月の多雨より土壌湿潤状態が続き、生育不良が発生した。
 獣害 中山間地域の圃場において、猪の食害が発生した。
 虫害 9月にハスモンヨトウが多発し、圃場全体に白変葉が見られた。

(5)園芸施設共済関係
イ.園芸施設共済(引受)

項目 施設区分	施設 区分 コード	組合数	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共 済 金 額					保険金額	徴収保険料	交 付 金	手持保険料		
							特定園 芸施設	附帯施設	施設内 農作物	撤去費用	復旧費用					合 計	
			人	棟	㎡	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	円	円	円		
ガラス室 I類	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
〃 II類	20	5	51	70	56,979	661,219	434,718	49,943	0	7,421	31,947	524,029	454,685	403,411	381,381	784,792	
プラスチックハウス I類	30	1	1	1	388	980	784	0	0	0	0	784	706	6,504	6,804	13,308	
〃 II類	40	5	3,305	15,754	7,235,341	14,912,785	9,877,012	1,415,798	4,791	65,504	530,556	11,893,661	10,187,370	63,470,636	48,716,846	112,187,482	
〃 III類	50	5	177	294	264,478	920,002	620,722	63,784	0	14,539	34,916	733,961	639,321	3,103,640	3,086,919	6,190,559	
〃 IV類 甲	61	5	795	1,586	1,418,507	5,277,777	3,281,140	549,558	0	88,332	297,421	4,216,451	3,642,878	10,958,495	11,559,592	22,518,087	
〃 IV類 乙	62	5	90	125	111,871	601,038	376,985	67,706	0	10,601	21,691	476,983	412,171	975,565	1,053,073	2,028,638	
〃 V類	70	5	109	174	164,664	1,266,367	747,665	148,972	0	35,231	81,091	1,012,959	903,978	2,367,911	1,741,559	4,109,470	
〃 VI類	80	4	29	101	28,436	45,878	34,097	1,716	0	142	704	36,659	31,762	212,564	148,119	360,683	
〃 VII類	90	1	1	3	1,800	3,399	2,467	0	0	0	249	2,716	2,444	24,884	19,275	44,159	
計		実(5)	36	4,558	18,108	9,282,464	23,689,445	15,375,590	2,297,477	4,791	221,770	998,575	18,898,203	16,275,315	81,523,610	66,713,568	148,237,178

ロ.園芸施設共済(被害)

① 27年度実績

項目 施設区分	施設 区分 コード	被 害				損害額	共 済 金					保 険 金	共 済 金 — 共 済 金 額	
		組 合 数	組合員数	棟 数	内附帯 施設数		特定園 芸施設	附帯施設	施設内 農作物	撤去費用	復旧費用			合 計
			人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室 I類	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II類	20	3	4	8	0	821,338	657,067	0	0	0	571,087	1,228,154	591,358	0.2
プラスチックハウス I類	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II類	40	5	632	1,240	66	158,997,701	116,566,472	9,430,742	0	181,308	43,203	126,221,725	108,227,127	1.1
〃 III類	50	5	48	59	7	11,989,432	8,251,384	1,296,228	0	0	145,787	9,693,399	8,426,076	1.2
〃 IV類 甲	61	5	141	187	18	22,434,836	14,961,251	2,839,105	0	0	28,185	17,828,541	15,722,140	0.4
〃 IV類 乙	62	4	13	15	1	2,614,613	1,886,215	177,120	0	0	0	2,063,335	1,879,629	0.4
〃 V類	70	3	17	20	2	4,310,183	3,026,392	421,661	0	0	0	3,448,053	3,099,829	0.3
〃 VI類	80	2	3	4	0	197,224	157,687	0	0	0	0	157,687	137,567	0.0
〃 VII類	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計		実(5)	27	858	1,533	201,365,327	145,506,468	14,164,856	0	181,308	788,262	160,640,894	138,083,726	0.8

※28年度に支払った27年度事故の撤去費用及び復旧費用 被害戸数17戸・被害棟数 21棟・損害額 798,349円 ・共済金 888,358円・保険金 799,523円が含まれる。

② 28年度実績

項目 施設区分	施設 区分 コード	被 害				損害額	共 済 金					保 険 金	共 済 金 — 共 済 金 額	
		組 合 数	組合員数	棟 数	内附帯 施設数		特定園 芸施設	附帯施設	施設内 農作物	撤去費用	復旧費用			合 計
			人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス室 I類	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II類	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス I類	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 II類	40	5	205	244	0	28,495,465	15,566,666	6,780,192	0	0	368,949	22,715,807	19,371,318	0.2
〃 III類	50	4	12	13	0	741,068	513,729	79,020	0	0	0	592,749	510,115	0.1
〃 IV類 甲	61	4	43	43	0	10,255,499	6,816,284	1,281,083	0	0	106,867	8,204,234	6,824,601	0.2
〃 IV類 乙	62	1	1	1	0	34,884	27,907	0	0	0	0	27,907	22,325	0.0
〃 V類	70	2	2	2	0	136,320	39,936	69,120	0	0	0	109,056	98,150	0.0
〃 VI類	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
〃 VII類	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計		実(5)	16	263	303	39,663,236	22,964,522	8,209,415	0	0	475,816	31,649,753	26,826,509	0.2

ハ、園芸施設共済(支払)

① 28年度に支払った27年度事故の撤去費用及び復旧費用の共済金

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源						実支払保険金 保 険 金
	再 保 険 金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	支払備金	そ の 他	
円 799,523	円 190,928	円 0	円 0	円 0	円 608,595	円 0	% 100.0

② 28年度事故に係る共済金

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源						実支払保険金 保 険 金
	再 保 険 金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	支払備金	そ の 他	
円 26,826,509	円 3,972,436	円 22,854,073	円 0	円 0	円 0	円 0	% 100.0

③=①+② 28年度実績 合計

実支払保険金	保 険 金 支 払 財 源						実支払保険金 保 険 金
	再 保 険 金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	支払備金	そ の 他	
円 27,626,032	円 4,163,364	円 22,854,073	円 0	円 0	円 608,595	円 0	% 100.0

(被害概況)

4月に発生した強風により104棟の被害が発生した。9月には、筑後地区の一部の地域において竜巻が発生し、11棟のハウスに全壊を含む大きな被害が発生した。10月には直接の影響はなかったが台風18号の影響によりの40棟の被害を受けた。それ以外には、落雷の影響により附帯施設に被害を受けた。6月には、一部地域であるが大雨の影響で河川が氾濫し附帯施設の灌水施設が水没した被害も発生した。

(損害防止)
損害防止の啓発を図る観点から、組合等職員を対象に損害評価現地講習会を開催し、損害評価方法及び損害防止の講習を行うとともに、日頃から農家に対し園芸施設の保守管理や事故の未然に防止に努めるよう指導することを徹底した。また、県が策定した内容農作物にかかる「野菜及び花き花木病害虫・雑草防除の手引き」を県のホームページからリストし必要に応じ配布し、農家への損害防止活動に活用するよう指導した。

(6)任意共済関係

1 建物共済

イ 農家建物(引受)

項目 区分	加入棟数	保険金額 (共済金額) 円	保険料(共済掛金)		1棟当り平均 保険(共済)金額 円	再共済掛金 円	再共済 手数料収入 円
			純保険料 (純共済掛金) 円	賦課金 円			
保険関係	棟 67,975	円 657,700,300,000	円 423,169,163	円 257,366,788	円 9,675,620	円 203,957,284	円 67,940,659
計	67,975	657,700,300,000	423,169,163	257,366,788	9,675,620	203,957,284	67,940,659

(総共済掛金額 680,533,951 円 再共済割合 30% 再共済手数料割合 42%)

ロ 農家建物(事故)

事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) (イ) 円	支払保険金(共済金) (ロ)		再共済金 円	被害率 $\frac{\text{ロ}}{\text{イ}}$ %	備考
		火災 円	風水害等 円			
棟 551	円 657,700,300,000	円 126,310,267	円 74,651,743	円 60,595,972	% 0.03056	

ハ 農家建物原因別事故発生状況

項目 区分	事故棟数	加入総保険金額 (共済金額) (イ) 円	支払保険金 (共済金) (ロ) 円	再共済金 円	被害率 $\frac{\text{ロ}}{\text{イ}}$ %	備考	
							失火計
電気配線等の漏電	10	円 53,258,630	0.00810				
たばこ	1	円 11,688,897	0.00178				
類焼	7	円 17,547,614	0.00267				
拡張担保・落雷	163	円 30,288,979	0.00461				
拡張担保・他	42	円 4,061,007	0.00062				
自然災害	323	円 74,651,743	0.01135				
計	551			0.03056			

2 農機具共済

イ 引受

項目 事故の原因	加入台数	保険金額 (共済金額) 円	保険料(共済掛金)		1台当り平均 保険(共済) 金額 円
			純保険料 (純共済掛金) 円	賦課金 円	
保険関係	台 9,954	円 19,679,950,000	円 94,875,556	円 25,125,091	円 1,977,090
計	9,954	19,679,950,000	94,875,556	25,125,091	1,977,090

ロ 事故

事故台数	加入総保険金額 (共済金額) (イ) 円	支払保険金(共済金) (ロ)		被害率 $\frac{\text{ロ}}{\text{イ}}$ %	備考
		火災・稼働中 円	風水害等 円		
台 255	円 19,679,950,000	円 57,857,289	円 1,526,536	% 0.30175	

ハ 原因別事故発生状況

項目 事故の原因	事故台数	加入総保険金額 (イ) 円	支払保険金 (ロ) 円	被害率 $\frac{\text{ロ}}{\text{イ}}$ %	備考	
						火災
物体の落下等	5	円 449,913	0.00229			
盗取・毀損	2	円 1,060,977	0.00539			
鳥獣害	2	円 791,316	0.00402			
衝突	33	円 5,456,047	0.02772			
接触	156	円 22,913,728	0.11643			
墜落	9	円 8,248,581	0.04191			
異物の巻き込み	22	円 2,195,160	0.01115			
転覆	18	円 15,327,951	0.07789			
その他	0	円 0	0.00000			
自然災害	5	円 1,526,536	0.00776			
計	255		円 59,383,825	0.30175		